

平成31年4月7日執行

福岡県知事選挙

選挙公報

投票日 4月7日

福岡県選挙管理委員会



自民党推薦

たけうち和久

かずひさ

(47歳)

福岡県をもっとシェアワセにする 3つの挑戦

1 「世界初」経済成長する
少子高齢社会を実現！

人生百年時代の到来！世界に先駆けて人口減少、少子高齢化の中でも成長できる社会経済のモデルを実現。少子高齢時代のニーズをチャンスととらえ、「産業のモデルチェンジ」を図り、このあと高齢化に直面するアジア諸国や世界に、ノウハウとインフラを提供。福岡県が世界を牽引する。

2 攻めの少子化対策、
女性にチャンス！

子育て世代が移住したくなる福岡県をつくる。待機児童解消・地域の子育て支援・教育環境強化など「攻めの少子化対策」を実現！子ども、女性の笑い声が県内隔々に響き渡り、女性も男性も子どもたちも、のびやかに輝く福岡県をつくる。

3 全県一丸
ワン・フクオカ計画！

全60市町村が主役の全県一丸体制を構築！ホットラインを整備することにより、県がプラットフォームとなって各市町村への支援を徹底的に行う。広域連携を強化し、観光、ものづくり、医療サービス、交通、国際物流、市町村との共同の企業誘致など、各市町村の強みを最大限に引き出す。

福岡県はマイナス成長。完全失業率は全国ワースト2位

現県政が掲げた「県民幸福度日本一」は、2期8年経っても全国30位

福岡県民の健康寿命は、全国男性40位、女性30位

全国知事会議での発言は、過去7年間で1回だけ

現福岡県知事と福岡市長の公式会談は8年間ゼロ

ここがほんとけん!

たけうち和久プロフィール

1971 (昭和46)年4月19日 (47歳)

●学歴
福岡市立石丸小卒、久留米大学附設中・高卒、東大法学部卒

●職歴
1994年～2015年

厚生労働省
医療・介護・福祉・子育て・雇用などの政策立案
米国シンクタンクEBRI(在ワシントンDC)
2005年 在英日本国大使館(在ロンドン)一等書記官
2015年 アクセンチュア株式会社
2017年 マッキンゼー&カンパニー アドバイザー
2018年 九州朝日放送テレビ(KBC)「シリタカ!」
「アサデス。」レギュラーコメンテーター

●趣味: 毎朝のみそ汁づくり、にぎり寿司づくり、日本酒、寺社仏閣めぐり、山歩き ●家族構成: 妻と娘(2歳) ●スポーツ: テニス、ジョギング ●座右の銘: 挑戦なければ進歩なし、如蓮華在水(よれんげざいすい) ●特徴: ジャッキーチェンに似ている

消費税10%増税 国保料(税)大幅値上げ ダブルパンチ

安倍政権の暴走・国民いじめに立ち向かう県知事が必要です



福岡県知事候補 日本共産党推薦
県民を主人公に、憲法をくらしに生かす福岡県民の会推薦

しのだ清

きよし

自民党の権力争いをしてしている人たちに
その立場はありません

市民と野党の共闘にがんばっている

共産党
しのだ清だからこそ、やれます

1 福祉と子育て応援

- 子どもの医療費を中学卒業まで無料に。
- 30人学級をめざし教員を増やします。

2 命を守る防災・減災対策

- 5500カ所の土砂災害危険箇所対策を優先。
- まともな避難計画のない原発再稼働に反対。
- 再生可能エネルギーを推進。

3 地域循環型の経済づくり

- 中小企業振興条例の改善、小規模企業振興条例の創設で中小企業を応援。
- 最低賃金時給1500円をめざして、まず1000円に引き上げ。
- 日米FTA反対、種子条例制定で農業を応援。

4 9条生かした平和の発信

- 福岡空港の軍事利用、自衛隊築城基地の米軍基地化に反対。
- オスプレイの佐賀空港配備反対。
- 市民と野党の共同の力で福岡県から平和を発信します。

高すぎる国保料(税)の
抜本引き下げを
1兆円の公費投入でサラリーマンの健保並みにできます。

2000億円もかかる下関北九州道路を直ちにやめます。
ムダづかいやめて、予算の使い方を
変えれば財源はあります。

すいせんします

牧師
木村 公一

元九州工業大学工学部長
西垣 敏

元幼稚園教諭
嶽村久美子

アベ9条改憲
戦争する国づくり
やめさせましょう

財源は
あります
2000億円のムダづかい
「下関北九州道路」ストップ

経歴
福岡県椎田町(現、築上町)、1948年5月生まれ、北九州市小倉南区(在住)、築上中部高校～北九州大学外国語学部卒
現職 県民を主人公に、憲法をくらしに生かす福岡県民の会常任幹事・九条の会福岡県連絡会世話人・さよなら原発!福岡世話人・福岡県革新懇世話人・日本共産党福岡県委員会副委員長



(1) (この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。)

平成31年4月7日執行
福岡県知事選挙

選挙公報

投票日 4月7日 日

福岡県選挙管理委員会

ここは、県民第一の福岡県 目指すは「人の元気」と「地域の元気」

いいリーダーを推す



福岡県知事候補

おがわ洋

ひろし

(69歳)

私は、2期8年、「県民幸福度日本一」の福岡県を目指し、県民生活の「安全」「安心」「安定」を向上させるため全力を尽くしてきました。福岡県は、現在、前年から人口が増加した7都県の一つですが、しばらくすると確実に減少に転じます。その意味で、これからが正念場だと思います。3期目で目指すのは、さらなる「人の元気」と「地域の元気」です。以下5つの挑戦としてまとめました。これまで同様の御支援をお願いします。

挑戦1

住み慣れた地域で「働く」ことができる社会をつくります

●毎年60件の企業立地を実現 ●ベンチャー支援で年間1,000件の創業を実現 ●事業承継や海外展開、最新技術の導入による生産性向上など、中小企業を総合的に支援 ●自動車産業のさらなる振興とロボット、航空機などの未来を担う産業を振興 ●「グリーンアジア国際戦略総合特区」の一層の促進 ●経営の大規模化、園芸農業の高収益化、ブランド化や6次産業化、輸出拡大による所得の向上、「スマート農林水産業」による安定生産、担い手確保、地産地消の拡大、食育、有害鳥獣対策を推進 ●宿泊税の導入による県内各地の観光資源の魅力向上、受入環境の整備を支援

挑戦2

住み慣れた地域で「暮らす」ことができる社会をつくります

●新県立美術館の建設推進 ●コミュニティバス等の広域運行路線数を4割増 ●スポーツ環境の整備、大規模スポーツ大会の誘致、トップアスリートの輩出 ●女性の活躍の場の拡大とリーダーの育成、県警察も女性の採用、登用を拡大 ●「70歳現役社会」の拡大、障がいのある方の自立支援、病気と仕事の両立支援 ●介護従事者の処遇改善と人材確保 ●感染症対策、ワンヘルス・共通感染症対策 ●飲酒運転撲滅、暴力団対策、性犯罪対策、ニセ電話詐欺防止を加速 ●「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」「福岡県障がい者理由とする差別の解消の推進に関する条例」に基づく施策を充実 ●女性、子ども、高齢者、LGBT、外国人などに対する差別や偏見のない社会づくり

挑戦3

住み慣れた地域で「育てる」ことができる社会をつくります

●全ての小学校区に放課後児童クラブ等を設置 ●「あかい糸めーる」「出会い応援団体」の拡大による出会い提供 ●不妊治療の支援、産後ケアの充実 ●保育人材の確保、「子育て応援宣言企業」の拡大、正規雇用への転換と非正規雇用の処遇改善 ●子どもの貧困対策の充実、学力・体力の底上げ、向上 ●小学校での英語・プログラミング教育の推進、県立学校のエアロ設置とICT環境整備

挑戦4

災害に強く、生活と産業発展を支える基盤をつくります

●平成29年、30年豪雨の完全復興に全力 ●防災・減災対策、建築物の耐震化、ブロック塀倒壊対策 ●下関北九州道路、八木山バイパス4車線化の早期事業化 ●味坂スマートICの早期着工・完成 ●有明海沿岸道路、福岡都市高速道路(アイランドシティ線)、福岡空港関連自動車専用道路の整備 ●福岡空港の平行誘導路二重化、滑走路増設の早期完成 ●北九州空港の路線拡大、貨物拠点化、福岡空港との連携強化、滑走路の延伸 ●県道新北九州空港線の早期完成 ●物流の拠点化を目指し、刈田・三池両港の港湾施設整備を促進

挑戦5

行財政改革と地方分権に取り組みます

●「福岡県総合計画」「福岡県人口ビジョン・地方創生総合戦略」を着実に推進 ●県民の求める行政サービスを効率的に提供 ●不祥事撲滅、県民の皆様の信頼回復 ●県議会と力を合わせて地方分権を加速

※「おがわ洋の政策集」から抜粋

おがわ洋のプロフィール

昭和24年5月17日生まれ。 福岡市立西新小学校卒業、福岡市立百道中学校卒業、福岡県立修猷館高等学校卒業、京都大学法学部卒業。	
昭和48年 4月 通商産業省入省(通商局通商政策課)	平成11年 9月 近畿通商産業局長(大阪)
昭和54年 5月 立地公署立地指導課 (兼)地域振興室	平成13年 1月 内閣官房内閣審議官(森、小泉内閣)
昭和56年 7月 ハーバード大学客員研究員	平成15年 7月 産業技術環境局長
昭和62年 4月 外務省経済協力開発機構 日本政府代表部参事官	平成16年 6月 特許庁長官
平成 2年 6月 中小企業庁計画部振興課長	平成18年11月 内閣官房知的財産戦略推進事務局長 (安倍内閣)
平成 3年 6月 産業政策局消費経済課長などを歴任	平成19年11月 内閣官房内閣広報官 (福田、麻生、鳩山、菅、各内閣)
平成10年 6月 資源エネルギー庁長官官房総務課長	平成23年 4月 福岡県知事就任

いいまちには、いい人がいて、いいリーダーを選びます。

投票日 4月7日 日

投票日当日の投票時間は、原則として 午前7時から午後8時までです。

※選挙公報の掲載順は、くじによって決められたものです。立候補の届出順とは異なる場合があります。